

社団医療法人 養生会 月刊発行新聞

かしま

ほっと HOT ほっと hot 通信

ホームページ <https://www.kashima.jp>

かしま病院

検索

スマートフォンをご利用の方は、
QRコードを読み取り、アクセスしてください。

PCサイトと同じ内容がご覧頂けます。

7月号 Vol.366

令和5年（2023年）7月1日発行

■編集/かしま病院広報企画室
■発行/社団医療法人養生会〒971-8143
福島県いわき市鹿島町下蔵持字中沢目22-1
tel.0246-58-8010(代) fax.0246-58-8088ご意見・ご感想は...
上記住所へ郵便、またはE-mailでお送り下さい。
かしま病院広報企画室まで
kouhou@kashima.jp

1-2 卷頭特集

回復期リハビリテーション病棟
のご紹介

3

かしまホームの管理人ご紹介

コラム ひんがら目（193）
『結核・非結核性抗酸菌症学会の
学術講演会に参加してきました』
呼吸器科 部長 山根 喜男

4

ようこそ家庭医療へ！

リハビリPOST

かしま福祉まつり開催のお知らせ
かしま荘通信

看護学生 Internship インターンシップ 開催!!

参加者
募集中!

かしま病院の看護を体験してみませんか？

日時 第1回 2023年 8月23日(水) 9:00～12:15

★締切：8/16(水)まで

第2回 2023年 8月30日(水) 9:00～12:15

★締切：8/23(水)まで

定員 各日6名 (定員を超えた場合は、先着順とさせていただきます)

スケジュール

- 病院概要・教育体制説明
- 認定看護師の活動紹介
- 職場体験

職場体験場所 回復期リハビリテーション病棟
一般病棟、地域包括ケア病棟

申し込み方法

当院ホームページのインター
ンシップエントリーフォーム
より、必要事項を入力しあ
申込みください。ご不明な点やご質問などございましたら、お問い合わせください。
看護部インターンシップ担当 TEL:0246-58-8010

卷頭特集

回復期リハビリテーション病棟のご紹介

かしま病院には、回復期リハビリテーション病棟が59床あります。

今月号では、病棟について紹介いたします。

家庭復帰・社会復帰・寝たきり予防を目的にリハビリテーションを行う病棟です。病気やけがなどの様々な疾患の治療を受けて病状が安定した後、病院の専門職がチームを組んで集中的なリハビリを実施します。病気の治療が落ち着き、病状が安定している時期を「回復期」といい、この期間に集中してリハビリを実施することができます。リハビリの効果をより高めることができます。

当院では、患者さんの状態に合わせたりハビリ実施計画を立てて、担当のリハビリスタッフが365日リハビリを提供しています。リハビリ実施時間は一日最大3時間までとなっており、患者さまの体調に合せて無理のない範囲でリハビリに取り組むことができます。

リハビリテーションの機能を充実させ、当院は市内で唯一、病棟基準で最も高い回りハーハーを取得しています。

回復期リハビリテーション病棟とは？



- Rehabilitation -





回復期リハビリテーション病棟では、患者さんが自分らしい生活を取り戻せるように、多職種によるチームで総合的なリハビリの提供に努め、早期の家庭復帰・社会復帰を支援します。

また、患者さん、ご家族、医療スタッフ(医師、看護師、リハビリ、医療ソーシャルワーカー等)が集まつて面談を行い、リハビリの状況や退院後の方針について話をする機会を設けています。



△多職種カンファレンスの様子

回復期リハビリテーション 患者さんの タイムスケジュール



☑脳梗塞で入院中のAさんの場合(例)

6:00 起床 モーニングケア



8:00 朝食・朝の整容

食事動作・口腔ケア

8:30 着替え・朝の準備

着替えの準備

9:00 リハビリテーション
入浴

- 病棟やリハビリ室、屋外でのリハビリを患者さんに合わせて行います。
- 病棟内の生活を通してトイレ練習や歩行訓練、更衣練習、立位で行う各動作の練習等を反復して行います。
- 曜日によって入浴します。



12:00 昼食・食後の整容

自室かホールで食事します。 飲み込みの訓練をします。



13:30 リハビリテーション

曜日によって、皆様で行うレクリエーション等により、日中の寝つきを防ぐとともに身体機能・精神活動を高めます。

15:00 着替え

着替えの練習



18:00 夕食・食後の整容



21:00 消灯・就寝

Q 入院してみていかがでしたか?

Q 退院してからの生活はいかがですか?

杖を使って一人で歩けるようになりましたが、自宅ではちょっとした段差にも気付けなくてはならないので、意外と疲れが出ますね。体の状態を維持するためにリハビリをしたいと思ったので、通所リハビリを利用するようになりました。またリハビリを頑張ります。

次第に前向きな気持ちでリハビリに取り組むことができるようになり、リハビリの時間が来るのが楽しみになりました。ここでは日曜日もりリハビリがあり、途切れることなく毎日リハビリができたのも非常に良かったです。

入院したときは歩行するときに介助が必要で、言葉も出にくい状態でした。どのくらい回復できるのか不安でしたが、リハビリスタッフさんにはリハビリの時間以外にも温かく声をかけたり、自主トレーの際にアドバイスをしてくれたりと、スタッフの皆さんとの関りで元気づけられることができたのです。

リハビリ内容

ふらつきが強く、言葉もたどたどしい状態。仕事復帰を目指して、理学療法、作業療法、言語療法によるリハビリを実施。

**voice
利用者さん
の声**

脳梗塞の治療後に入棟

50代・男性





かしまホームの管理人 ご紹介



かしまホームは、地域住民と病院スタッフのコミュニティの場として、また医学生の宿舎としての役割を担っています。今回は、そこで管理人として働く池本次郎さんをご紹介します。

自己紹介

かしまホーム 管理人 池本 次郎さん

はじめまして! かしまホーム管理人の池本次郎です。21歳の大学生ですが、在籍している大学を今年の4月から休学し、いわきにやってきました。趣味は本を読むこと、散歩することです。散歩の道すがら見つけたものをたくさん写真に撮っています。

大学では社会学を学んでおり、医療に関しては完全に素人です。素人だからこそ気づけることや関わり方があると信じて、頑張ります。どうぞよろしくお願いします!



Q & A

Q 管理人としてどんなことをしているのですか?

A かしまホームには、ふたつの役割があります。ひとつは、かしま病院に実習に訪れた医学生の宿舎。もうひとつは、地域の方や病院のスタッフなどが集うコミュニティスペースです。管理人の役割も、役割に応じて様々です。

ある時は「宿舎の」管理人として一緒に晩ご飯を作って食べたり、ある時は「コミュニティスペースの」管理人として訪れた地域の方とお話ししたり。宿泊する医学生の暮らしのサポートや、地域の方との交流を行なっています。

Q かしま病院でも仕事をしているのですね。

A かしまホームでの仕事のほかに、病院の栄養課でも働いています。入院患者さんの食事を作るのが主な仕事です。数キロの野菜やフルーツの仕込みをしたり、何百枚ものお皿を洗ったり。100人分以上の量を一度に作るため、ふだんの料理とのスケールの差に圧倒されます。

多くの仕事があり大変なときもありますが、病棟から戻ってきた料理が完食されると、「よかった、すべて食べていただけた」と嬉しくなります。

コロナ禍のために自粛していた全国学会に3年ぶりに参加して来ました。新宿で開かれた第98回日本結核・非結核性抗酸菌症学会です。以前は日本結核病学会と呼ばれていました。結核は、明治大正時代には毎年10万人以上の方が死亡され、国民病と怖れられその対策が急がれ大正12年に北里柴三郎先生らが中心となり学会が設立されました。今年がちょうど100周年になります。

戦後間もなくストレプトマイシンが導入され、結核予防法が制定されて官民挙げての対策、さらに新薬開発などが功を奏し、結核罹患率は減少の一途を辿ってきました。20世紀末に一時期増加に転じ、「結核緊急事態宣言」が発せられたことがありますでしたが、気を引き締めた結核対策により再び減少に転じ、令和3年には人口10万人当たりの罹患率が9・2人になりました。やっと「低蔓延国」になりました。

最近では、同じ抗酸菌ながら、結核以外の抗酸菌による肺感染症の方が中高年の女性を中心に増加しており、その対策が重要なになっており、学会名も変更になりました。

小筆もいわき市の感染症審査会の委員を務めており、最新の抗酸菌症の進歩に遅れないように学会の末席を汚して来ました。久しぶりの東京であり、「町中華で飲ろうぜ」のテレビ番組で思い出した代田橋の「榮樂飯店」に50年ぶりに足を向けました。二十歳頃に食べた、チャーハン、タン

メン、カレーライスの味。医学部への学士編入が決まり、卒業間近な折、チャーハンを食べながら、店にあった新聞で「栃木県に自治医大と獨協医大が新設される」という記事を読んだことがなぜか脳裏に甦りました。栄樂飯店のカウンターでタンメンをすすりながら、名物店主に声を掛けることを想像すると青春時代に戻ります。

京王線は新宿からしばらく地下を走り、以前に止まつた初台や幡ヶ谷の駅は通らず、いきなり笹塚駅でした。次の代田橋駅で降り、和田堀給水場を右に見ながら足早に栄樂飯店へ。ところが、夕方6時過ぎにも拘らずシャツラーが下ろされしていました。がっかりしました。

3年前に観た「町中華で飲ろうぜ」では、この近所に「青龍」という別の町中華があつたのですが、探しをみると店名が変わっていました。学生時代に住んでいた木造家屋はマンションに変わり「すみれハウス○○」と



ひんがら目(193)

ようこそ 家庭医療へ!

～いわきに生きる家庭医育成への挑戦～



かしま病院では、研修医だけでなく、多くの学生が学びに来ています。目的は臨床実習です。臨床実習とは、医療従事者を目指す学生が医療機関や福祉施設でおこなう実習のことです。患者様におかれましては、日頃の臨床実習へのご理解・ご協力に感謝申し上げます。

臨床実習は、患者さんと実際に対面し、診察技法や治療、カルテの書き方など、大学や専門学校で学んだことを現場で確認し、より実践的なものにしていくためにおこなわれます。その中で、専門職としての役割や業務内容、倫理観なども現場にて学んでいきます。

医療現場にどっぷりと漬かって、診療に参加し、患者さんと向き合い、カルテの書き方やコミュニケーションの取り方などを含め、大学や学校で学んできた技術や疾患の知識などをしっかり実践してこそ、現場の雰囲気を感じ取り、教科書だけではわからない多くの気付きを得ることができます。

日頃、大学病院で臨床実習している医学生らに、かしま病院

第161回 医学生を育てるということ

石井 敦 病院長



での臨床実習について感想を訊ねると、多くの医学生は「大学では見学が主でしたが、ここでは色々実践できて、とても充実しています」と、目を輝かせて報告してくれます。

実は、多忙な大学教員は、医学生の教育に注力することが困難で、結果として見学中心の臨床実習になっているという話を伝え聽きます。しかしながら、人口あたりの勤務医数が全国平均と比してダントツの少なさを誇る（誇っちゃダメ！）いわき市にある当院の医師が、大学教員と比べて本当に暇でしょうか？おそらくどちらも忙しいと思います。

かしま病院では、臨床実習を受け入れる以上「愛情込めて本気で育てよ！」というコンセプトで対応しています。無論、実習である以上、見学ではなく実践を重んじます。結果として、多くの患者さんに多大なるご協力をいただいていると思います。

しかし、そのご協力が、〇年後の充実した医療へと紡がれるでしょう。若き医療人への教育は、明るい未来への懸け橋となることを確信しています。

かしま病院では、2008年度から家庭医を志す研修医や地域医療実習を行う医学生を受け入れています。このコラムを担当する石井敦病院長は日本プライマリ・ケア連合学会認定指導医として、研修医・医学生の指導を行っています。

リハビリ POST

第148回

リハビリ栄養

皆さんは「リハビリ栄養」という言葉をご存じですか？「リハビリ」と「栄養」というと一見関係性のない言葉かと思われるかもしれません、実はとても深い関係があります。

まず、リハビリ栄養とは「リハビリを必要とされている方に対してリハビリをするにあたって必要な栄養管理を行う事や栄養状態に配慮したリハビリを行う事」を意味します。入院（入所）をされた際に食べ物の飲み込みが悪くむせやすくなってしまったり（嚥下障害）、体調不良などの理由により十分な食事量が取れなかつたりした際に栄養状態が悪くなってしまったりする事（低栄養）があります。その割合は病院で38.7%、老人ホームで13.8%、リハビリ施設で50.5%

などと病院・施設に多く、特に高齢者の方にそのような傾向が多く見受けられています。必要な栄養量が取れずに低栄養となってしまうと体重減少や筋肉の減少・床ずれ・免疫力の低下などを引き起こしてしまう可能性が高く、さらに十分なリハビリができないことに栄養不足が加わると悪循環となり身体機能の十分な回復が得られなくなってしまう事もあります。つまり十分に食事や栄養を取る事が難しいと、いくらリハビリを行ったとしても様々なリスクを伴う可能性が考えられます。そこで必要なのが食事・栄養面を考慮したリハビリで、必要な栄養管理やリハビリでの運動量調整という「リハビリ栄養」の考え方です。

次回、リハビリ栄養の具体的な取り組みや当院のリハビリ栄養での連携などに関してご紹介させていただきます。

言語聴覚士 佐藤 萌



かしま荘通信

かしま喫茶

5月9日(火)



5月に「かしま喫茶」を開店しました。子供の日が近かつたので、柏餅や水まんじゅう、職員手作りの抹茶ババロアを提供させていただきました。涼しげなメニューに、味も満点だったようで、皆様大満足されておりました。

4年ぶり!

かしま福祉まつり

開催のお知らせ

日時 7/29(土)
10:00~15:00

会場 かしまデイサービスセンター前広場

主な催物：模擬店、ステージ公演、福祉体験、特産物販売など

かしま病院ブース

- 店名「居酒屋マダム」：からあげ、揚げパン、玉こんにゃく
- 福祉を体験できる企画も準備中です！

お気軽にご参加ください！

